

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年6月19日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「神はわたしの避けどころ、わたしの砦。苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。」

詩編 46編2節

7、すずめやはとを（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記9章5～13節

また、あなたたちの命である血が流された場合、わたしは賠償を要求する。いかなる獣からも要求する。人間どうしの血については、人間から人間の命を賠償として要求する。

人の血を流す者は／人によって自分の血を流される。人は神にかたどって造られたからだ。

あなたたちは産めよ、増えよ／地に群がり、地に増えよ。」

神はノアと彼の息子たちに言われた。

「わたしは、あなたたちと、そして後に続く子孫と、契約を立てる。

あなたたちと共にいるすべての生き物、またあなたたちと共にいる鳥や家畜や地のすべての獣など、箱舟から出たすべてのもののみならず、地のすべての獣と契約を立てる。

わたしがあなたたちと契約を立てたならば、二度と洪水によって肉なるものがことごとく滅ぼされることはなく、洪水が起こって地を滅ぼすことも決してない。」

更に神は言われた。「あなたたちならびにあなたたちと共にいるすべての生き物と、代々とこしえにわたしが立てる契約のしるしはこれである。

すなわち、わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。

おはなしとおいのり

「ノアの契約」

杉山昌樹牧師

（上のリンクをクリックし再生ボタンをクリックすると音声の流れます。もし途中で止まるようでしたらファイルをダウンロードしてください）

みなさん、お元気ですか。杉山です。今日はノアさんのお話の続きです。最初に聖書を読みましょう。

先週のお話を覚えていますか。怖いところがありました。神様は、人間がとても悪くなってしまって、お互いに争ったり意地悪なことをしてばかりで、神様のこともずっと無視して、神様よりもえらくなろうと考えているのを見て、この世界を一度終わりにすることを決めました。でも、神様は同時に、世界にあるものを愛していましたから、ノアさんたちのような良い人たちと動物を箱舟に乗せて、守ってくれました。今日は読みませんでしたけど、聖書には「神はノアと彼と共に箱舟にいたすべての獣とすべての家畜をみ心に留めた」と書いてあります。神様は、いつでも、ご自分が守ろうとしているものすべてをこうして見ていてくれます。今も僕たち、私たちを大丈夫かな、困ったことがないかな、と心配してくれて

います。ノアさんたちを見守っていた神様は、一度は水だらけになってしまった世界中の水を段々ひくようにして、ノアさんたちが陸地に降りられるようにしてくれました。こうしてノアさんが鳩を飛ばすと、オリーブの木の枝をくわえて帰ってきました。それで水が引いて陸がすっかり現れたとわかったノアさんたちは、船から下りて、陸に上がり、神様に礼拝をささげました。すると神様は、ノアさんたちに、約束とルールを与えてくれました。それは、人間が正しく生きているためのルールです。神様は人間が悪くなって、争ってばかりいるのが悲しくて、世界をやり直そうとしたのでしたね。このノアさんたちの新しい世界でも、人間がひどいことをしないように、血を流してはいけない、血を流したものは責任を問われる、人間は神様に似せて作られた大切なものだからとあって、お互いに大切にしようというルールを決めてくれました。それからもう一つ、大切な約束をしてくれました。それは、ノアさんたちの前の時代の人たちが滅ぼされてしまったように、もう一度、世界を滅ぼすことはもうしない、という約束です。そして、そのしるしとして、虹を雲の間に置くことにしました。空の虹はきれいですね。あの虹が出るたびに、神様は、「あなたたちならびにすべての生き物、すべて肉なるものとの間に立てた契約を心に留める」と約束してくれました。神様が作ってくださったわたしたちとこの世界にあるもの全部を気にして、どうかな、大丈夫かな、世界はちゃんと続いているかな、といつも気にしてくれるという約束です。でも、このお話は、それで終わりではありません。この時、神様は、きっとこんな風に考えていたはずです。人は、どうしても悪いことをしてしまうようだ、どうしても、喧嘩や人殺しを始めてしまうようだ、だから、人間が悪い、と言って何度も滅ぼすようなことはもうやめよう、その代わりに、もっと、別の方法で、人間を良くしていこう。いい人も悪い人も、わたしとであって、作り変えられていくことができるようにしよう。皆さん、これは何のことかわかりますね。そうです。イエス様です。イエス様は、すべての人の罪を十字架で引き受けてくれました。そうして、誰でもイエス様を信じるなら、神様の子となれるようにしてくれました。そして神様と本当に出会った人は作り変えられていきます。今でも、戦争が実際にあります。戦争でなくても、人が人を苦しめてしまうことが、たくさんあります。でもその横にイエス様の十字架があります。イエス様は今日も、ここに争いではない道があるよ、幸せに生きる道があるよと、呼びかけてくれます。

お祈り

父なる神さま、み名をほめたたえます。あなたは世界を良いものとして造ってくださいました。けれども、私たちは罪があって、世界を壊し、悲しみを増やしてしまうことが多くあります。私たちの罪を赦してください。そして、わたしたちがあなたが与えて下さったイエス様を信じて、あなたと一緒に平和を造っていくことができますように。イエス様と一緒に生きて行けますように信仰を今日も与えてください。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

94、パパの歌 (こどもさんびかをお用ください)